

地方創生推進交付金 検証シート（令和4年度）

地域再生計画名称	大船渡市地域未来創発センターによる地場産業高度化・人材育成計画
----------	---------------------------------

1 総合戦略での位置づけと重要業績評価指標の実績 (上段：目標値 下段：実績値)

総合戦略での位置づけ(施策・プロジェクト)	重要業績評価指標	単位	KPI累計 (目標値)	事業開始前 現時点	単年度実績			目標達成率 (対R03実績)
					R01	R02	R03	
基本目標1 大船渡にしごとをつくり、安心して働けるようにする 施策3 新産業創出と起業・第二創業支援 5 地場産業高度化・人材育成プロジェクト	① 導入試行プロジェクトの完了数	件	5	0	3	5	5	180.0 (累)33
	② 人材育成・実践プログラム参加者数	人	15	0	20	15	15	333.3 (累)41
	③ 産学官地域課題研究会参加数	者	3	0	9	3	3	200.0 (累)16

総合戦略での施策・プロジェクトを記入しています。

※「目標達成率」欄の(累)は、R01～R03実績の累計。

2 事業概要

(1) 多様な地域課題解決に向けた産学官推進体制の構築 ・明治大学のサービス創新研究所のサテライトラボを大船渡市に誘致し、同研究所と市、民間IT事業者、地元事業者等を構成し、「産学官地域課題研究会」を設置（R1）。 ・同研究会で、地元事業者が抱える課題の抽出・整理、改善策を企画立案。	重要業績評価指標に関する数値等を記載しています。「実績値」は単年度で捉えています。「目標達成率」はKPI増加分累計(計画)に対する直近(R03)の達成割合を算出しています。
(2) IT活用課題解決型人材の育成と実証活動支援の展開 ・「産学官地域課題研究会」で、「IT活用課題解決型人材育成プログラム」(※)を構築し、実証活動の展開、に、事業者自らによるITを活用した実証活動を支援し、実装化につなげる。 ・小中学生を中心に、論理的思考を養い、自律的に課題を解決していく力の育成を図る。 ※ 「IT活用課題解決型人材育成プログラム」 受講者自らによる「ITを活用した課題解決策を講じることができる人材への変容」を支援するための学習プログラム。	交付対象事業の計画内容を記載しています。

3 令和3年度事業実績

(1) 産学官地域課題研究会運営・企画活動業務（産業政策室）5,973,431円 【委託先：株式会社地域活性化総合研究所】

内容	KPI貢献度	課題、今後の方向性
① 活動方針 ・課題に応じたDX（デジタル化を伴う自発的な変容）のきっかけづくりを支援する	◎	・R3年度は、各構成員が自分ごととして関わり、また、知恵を出して取り組む形ができた。 ・R4年度から民間主導による自主化に移行。 ・研究会を通じて、経営者自身が、DXを含む経営全般を振り返る機会の創出に努める。
② 活動内容（オンラインで13回開催、研究者、事業現場、産業支援、普及の分野の16者で構成） ○ IT活用課題解決型人材育成プログラムの企画及びアンケート等による効果検証プログラムに対する評価は、約7割が10点満点中「9～10点」と評価 ○ 課題の抽出・整理 ・課題抽出 → 関係者等を通じて「日頃感じている課題や疑問」をヒアリング ・課題整理の結果 → 「事業の原点に関わる利害関係者との接点を見直すこと」が課題抽出のきっかけとなり、事業者の自発的な変容を促進し、改善策の創出に努める。 前年度における交付対象事業の取組実績等を整理し、交付対象事業の委託業務内容等を記載しています。	◎	

前年度における交付対象事業の取組実績等を整理し、交付対象事業の委託業務内容等を記載しています。

委託業務のKPI（重点業績評価指標）に対する貢献度を記載しています。(◎・○・△・×の4段階で評価しています。)

交付対象事業の取組実績を踏まえた上での課題を整理するとともに、総合戦略の施策の実現に向けて、今後の方向性を記載しています。 ※総合戦略の施策に効果があったかなど、意見等をいただきます。 ※※今後の方向性に改善策の提言等をお願いします。

内容	KPI貢献度	課題、今後の方向性
① IT活用課題解決型人材育成プログラムの実施 ・形式：直接指導の「ITスキルを学べる講座」と「参加者同士の交流を促進する交流会」 ・対象者：15～64歳のIT活用を始めようとする者 ・実施数、参加者数 41回(オンラインを基本、一部対面) ・参加者から発表されたIT活用プロジェクト数 4件 〔内訳〕 スマホによる注文受付サービス、業務管理のクラウド化、プロシミュレーションマップ×2 ・その他 親子向けプログラミング教室の開催(4回、16名参加)	◎	R4年度は継続予定。R3年度の実証結果に基づき「参加者同士の交流を促進する交流会」形式を実施。
② 実証活動の支援 ・対象者 ヒアリングした10事業者のうち、「産業>業界>業種>事業>組織の各分野のモデルケースになり得る実証活動」に取り組む5事業者 ・成果 創出プロジェクト5件 ア 大船渡商工会議所 会議所SNS上に、会員事業者間の情報交換の環境をつくり、テスト運用(継続中) イ 住宅建材等の卸業者 住宅建築業界全体の営業力強化のため、工務店と連携してパースモデルハウスを設け、住宅建築予定者向けにテスト運用(継続中) ウ 養殖漁業者 漁業の現場ルールの根拠を探る仕組みをつくるため、研究者と連携し、オンライン上で課題と根拠を投稿する掲示板を設け、有用性のテストを実施(継続中) エ 飲食店 コロナ禍における常連客との関係を維持するため、常連客とともに店主や店内客との会話が楽しめるバーチャル飲食店を設営(今後も随時運用予定) オ 商業施設経営組合 来場者の視点を捉え、場者がニーズを投稿する掲示板を設け、場者から「確認・検討・回答」する場を設け、場者からの声を受け止める(今後も随時運用予定)	◎	導入実績等に関する取組のDX

交付対象事業が総合戦略の施策の実現に向けて効果があつたか、貢献度評価しています。(A・B・C・Dの4段階で評価します。)

貢献度	A	理由	重要業績評価は概ね達成しており、事業成果も出ている。
-----	---	----	----------------------------